

謝

列傳由來年一每此道也

可也

如

出乃

出知

出休

出中

長

即

一

言

他

中

也

一

一

一

知

一 除内蔵除数より $10000 \div 1000 = 10$

他 1000

一 支多度より $10000 \div 1000 = 10$

一 付多度より $10000 \div 1000 = 10$

一 海軍より $10000 \div 1000 = 10$

一 合國より $10000 \div 1000 = 10$

他 即ち $10000 \div 1000 = 10$

一 支多度より $10000 \div 1000 = 10$

一 付多度より $10000 \div 1000 = 10$

一 海軍より $10000 \div 1000 = 10$

他 即ち $10000 \div 1000 = 10$

一 支多度より $10000 \div 1000 = 10$

一 付多度より $10000 \div 1000 = 10$

一 海軍より $10000 \div 1000 = 10$

一 支多度より $10000 \div 1000 = 10$

一 付多度より $10000 \div 1000 = 10$

一 海軍より $10000 \div 1000 = 10$

一 支多度より $10000 \div 1000 = 10$

一 付多度より $10000 \div 1000 = 10$

一 海軍より $10000 \div 1000 = 10$

一 本元 寺 大 師

化 出 寺 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

一 師 師 師 師 師 師

中夜の聲

古きもの心

中夜の聲

一 昔も今も変わらずと申す人の事
も聞かぬ事ありと申す人の事
も聞かぬ事ありと申す人の事
も聞かぬ事ありと申す人の事
も聞かぬ事ありと申す人の事

中夜の聲

古きもの心

一 昔も今も変わらずと申す人の事
も聞かぬ事ありと申す人の事
も聞かぬ事ありと申す人の事
も聞かぬ事ありと申す人の事
も聞かぬ事ありと申す人の事

中夜の聲

古きもの心

中夜の聲
古きもの心
中夜の聲
古きもの心

中夜の聲

古きもの心

古くはたのりては中世の世に
たのりては世に

一 古くはたのりては中世の世に
たのりては世に

古くはたのりては中世の世に

古くはたのりては中世の世に

一 古くはたのりては中世の世に
たのりては世に

古くはたのりては中世の世に
たのりては世に

一 古くはたのりては中世の世に
たのりては世に

古くはたのりては中世の世に

古くはたのりては中世の世に

古くはたのりては中世の世に

正徳十三年八月廿一日

此書

奉命

中書

之

平

傳

中

江

名

月

好

古

富

交

夜

一

二

三

四

五

六

七

八

一 男林由多作し酒坊多結多下 陽回後
作若多事人割備多入 幸伯多分多割業
多也多分多事 中多分多事也

一 考

六三番

一 考向多作多務多事 甚多事也多事也
之別多事多事也
一 時多事多事 多事多事多事多事
多事多事多事多事 多事多事多事多事
多事多事多事多事 多事多事多事多事
一 考向多事多事 多事多事多事多事
多事多事多事多事 多事多事多事多事
一 考向多事多事 多事多事多事多事
多事多事多事多事 多事多事多事多事
一 考向多事多事 多事多事多事多事
多事多事多事多事 多事多事多事多事

高麗の事は... 高麗の事は...

一 海軍... 海軍の事

一 海軍の事... 海軍の事

一 海軍の事... 海軍の事

一 海軍の事... 海軍の事

一 海軍の事... 海軍の事

一 海軍の事... 海軍の事

一 海軍の事... 海軍の事

一 海軍の事... 海軍の事

一 海軍の事... 海軍の事

一 海軍の事... 海軍の事

平

一 明平下五條市林檎の山梨を寄る

のの 乃か作候のなま

中をわあ一節 由出んわん

高持まのらあわん

神のらあ一節 南出候中

神出候のらあ一節 中

一 井

善く壽延保命の由候

一 山梨

一 山梨

一 山梨

一 山梨

一 山梨

山梨

山梨

山梨

山梨

一 山梨

一 此書より下流地帯に於ては
一 出づるべきものなり(中略) 幸ゆふべし
一 列強の侵入に際し(中略) 中略
一 此書は(中略) 中略
一 此書は(中略) 中略
一 此書は(中略) 中略

十一日

一 朝日新聞の論議(中略) 中略
一 朝日新聞の論議(中略) 中略
一 朝日新聞の論議(中略) 中略

一 此等ノ下流地帯ノ地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 地質ニ對シテハ 地質ニ對シテハ

一 乃係在自之射物也
列在左之角(同)新中(同)自(同)其(同)

一 一

六三書

一 亦村(同)其(同)市(同)也(同)其(同)路(同)一(同)也(同)且(同)其(同)也(同)其(同)也(同)

一 其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)

一 以(同)其(同)為(同)其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)

一 其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)

一 其(同)也(同)

一 亦(同)其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)

一 其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)

一 亦(同)其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)

一 其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)其(同)也(同)

今中村を以て其方より其方へ移す事
ありて其の中より其方へ移す事あり

一 亦其人又其方へ移す事あり又其方へ移す事あり
或は其方へ移す事あり又其方へ移す事あり

一 亦其人又其方へ移す事あり

一 亦其人又其方へ移す事あり其方へ移す事あり
其方へ移す事あり其方へ移す事あり

一 亦其人又其方へ移す事あり其方へ移す事あり
其方へ移す事あり其方へ移す事あり

其方へ移す事あり其方へ移す事あり
其方へ移す事あり其方へ移す事あり

一 亦其人又其方へ移す事あり其方へ移す事あり
其方へ移す事あり其方へ移す事あり

一 亦其人又其方へ移す事あり其方へ移す事あり
其方へ移す事あり其方へ移す事あり

年々其の形はさういふに
ふやん者中なる者の跡も
あやうき人なれば

三井屋と申すは田舎に
用ひて置るものなるは
お母 物のあらざるは

胡弓の如くはなれども
おろしきものなるは
直は直なりと申すは

味方へ下ははなれども

一 此の如くはなれども
おろしきものなるは

十四

五

一 此部中より及本幕中より引出せるもの

即ち此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

一 此部中より引出せるもの

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes. The text is written on a page with a vertical line on the left side. The script is dense and somewhat difficult to decipher due to its cursive nature.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written on a page with a vertical line on the left side. The script is dense and somewhat difficult to decipher due to its cursive nature.

一 本意為... 爲成... 爲成... 爲成...

十一

一 爲成... 爲成... 爲成...

一 爲成... 爲成... 爲成...

一 爲成... 爲成... 爲成...

一 爲成... 爲成... 爲成...

一 爲成... 爲成... 爲成...

一 爲成... 爲成... 爲成...

一 爲成... 爲成... 爲成...

一 爲成... 爲成... 爲成...

一 爲成... 爲成... 爲成...

一 本堂より移建候方(其の由)申上申
未 申上申

一 宗廟遷移の由(其の由)申上申
種(其の由)申上申
是(其の由)申上申
但(其の由)申上申
申上申

一 宗廟遷移の由(其の由)申上申

移建候方(其の由)申上申
申上申
申上申

一 宗廟遷移の由(其の由)申上申
申上申
申上申

一 宗廟遷移の由(其の由)申上申
申上申

其不中身一由音中花の意を以て
送る

生虫の採集は多量に採る

候公の御書
御書
御書

高津川下流の地行の御書

上

御書

一 上巻の御書は多量の採集の御書

御書

一 取巻の御書は多量の採集の御書

御書

一 以下巻の御書は多量の採集の御書

御書

一 依りて御書は多量の採集の御書

御書

一 以下巻の御書は多量の採集の御書

御書

一 取巻の御書は多量の採集の御書

御書

一 以下巻の御書は多量の採集の御書

御書

此山の如く山内をめぐりて今山内を三層敷き南無

此山を今三層敷き南無

一 此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

此山の内をめぐりて改定三層敷き紙に書き

一 乃田... 乃田... 乃田...
一 乃田... 乃田... 乃田...
一 乃田... 乃田... 乃田...

一 乃田... 乃田... 乃田...
一 乃田... 乃田... 乃田...
一 乃田... 乃田... 乃田...

一 世傳古傳あり、本番門後種、本種初也
之別なき者、此より本番也

一 本邦、此のふくまひ清也
一 本邦、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也

本邦、此のふくまひ清也

一 本邦、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也
一 本邦、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也

本邦、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也

一 本邦、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也
一 本邦、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也
一 本邦、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也
一 本邦、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也、此のふくまひ清也

妹を内縁とせしむるは此の法に於て

は有るに非ざる

一 別居を以てする事あり

一 共同生活の内に別居を為す事あり

一 共同生活を以てする事あり

一 共同生活を以てする事あり

一 共同生活を以てする事あり

一 共同生活を以てする事あり

一 共同生活を以てする事あり

一 共同生活を以てする事あり

共同生活を以てする事あり

共同生活を以てする事あり

十六

一

共同生活を以てする事あり

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

此の事も亦も

一 念子思子思子思子思

一 亦名子思子思子思子思

一 子思子思子思子思

一 子思子思子思子思

一 子思子思子思子思

十

六

一 子思子思子思子思

一 子思子思子思子思

一 子思子思子思子思

一 子思子思子思子思

一 子思子思子思子思

一 子思子思子思子思

一 子思子思子思子思

一 市重方以下列氏之通名を以て出づるに及
格方以下本姓を以て付し通名を以て列
市重方以下本姓を以て付し通名を以て列
中河 徳重方以下本姓を以て付し通名を以て列

一 市重方以下

合山方以下

徳重方

合山

大三人 一人 市重方以下
市重方以下 徳重方以下 合山方以下
市重方以下 徳重方以下 合山方以下

一 市重方以下 徳重方以下 合山方以下
市重方以下 徳重方以下 合山方以下
市重方以下 徳重方以下 合山方以下

子八月

市重方

一 市重方以下

一 市重方以下

市重方以下

市重方以下

市重方以下

三ノ月廿二日 拾遺文抄の巻末に
一ノ巻末

の巻末に 拾遺文抄の巻末に

一ノ巻末に 拾遺文抄の巻末に

一ノ巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

白米の巻末に 拾遺文抄の巻末に

大下
之傳者人所共知也

大下

一 大下

一 大下

一 大下

一 大下

白

山陰

村よき

山陽

川よき

山陰

東よき

山陽

山陰よき

山陽

東陽よき

山陰

東陽よき

山陽

東陽よき

山陰

東陽よき

山陽

東陽よき

山陰

東陽よき

東陽よき

東陽よき

東陽よき

東陽よき

東陽よき

東陽よき

東陽よき

一たふ入るが水は枯れはるる

たふ入るが水は枯れはるる

たふ入るが水は枯れはるる

Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text below the top line on the right page.

Handwritten text below the previous line on the right page.

Handwritten text on the right page, starting with a vertical line.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the left page, starting with a vertical line.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical line.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical line.